



表彰

平成26年度まちづくり月間 まちづくり功労者国土交通大臣表彰

国土交通省では、豊かでうるおいのあるまちづくりを推進するため、昭和58年から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、まちづくり功労者に対する国土交通大臣表彰等の様々な啓発活動を実施しています。

平成26年度は、「まちづくり功労者」として全国で34団体が表彰され、茨城県では、「大工町1丁目地区市街地再開発組合」「日立市」「古河市」の1団体と2市が受賞されました。

■大工町1丁目地区市街地再開発組合 ～市街地再開発事業による賑わいを創出する新たな拠点の形成

大工町周辺地区は、古くから交通の要衝として、現在も商業・業務、行政、教育、文化など様々な機能が集積する経済、生活行動の中心ですが、郊外型大規模店舗の立地により活力の低下が顕著になっており、建物の老朽化、駐車場や空き地が目立つ等、活気と魅力にあふれる都市の再生が課題となっていました。

このような中、生まれ育った町を復興したいと商店組合や地元の人たちが、地元企業や住民、行政などから協力を得ながら、組合施行として再開発事業が進められ、平成25年5月に完成を迎えました。

市街地再開発事業では、土地の合理的で健全な高度利用と都市機能の更新を図り、中心市街地の活性化に寄与することを目的として、ホテルや業務施設、都市型住宅などの複合施設を整備しました。

再開発事業の完成により、当地区では新たな雇用が生まれ、またホテルも順調に利用され、賑わいを創出する新たな拠点の形成に貢献しています。



【お問い合わせ先】 水戸市泉町・大工町周辺地区開発事務所 TEL：029-300-1044

■日立市 ～ラウンド・アバウト方式を採用した駅前広場再整備

常陸多賀駅前広場は、整備から約50年が経過し、施設の老朽化や社会情勢の変化から、交通結節点として解決しなければならない課題が山積していました。

整備方針については、「常陸多賀駅前広場再整備検討委員会」を設置し、市及び設計者で素案を策定後、計6回の検討委員会により検討を進め、交通を明確に区分するとともに、交差点処理は信号処理ではなく、元々あったロータリーを有効に活用し、ラウンド・アバウト方式に改良しました。ラウンド・アバウト方式の採用にあたっては、安全性と円滑性について立証するため、実証実験を実施し、ドライバーへのアンケートも行いました。

歩道舗装のパターン、ラウンド・アバウト内の照明、シェルターの色彩、広場内の植栽の決定にあたっては、日立市都市環境デザイン委員会を開催して助言を求め、都市の顔としての景観形成を図っております。

バリアフリー化と交通を明確に区分したことで、駅利用者にとって便利になっており、また、ラウンド・アバウト方式の交差点になったことで安全で円滑な運用がされております。



【お問い合わせ先】 日立市道路建設課 TEL：0294-22-3111

■古河市 ～多様な機能を備えたまちづくり活動の拠点となる地域交流センターの整備

古河市は、地域交流センター（はなももプラザ）建設にあたって、地域住民の相互交流の場になるとともに、歴史・文化資源や市民活動の情報発信の場となるよう、また未来に誇れる・魅力あるまちづくり活動の拠点施設として活用を図ることを目的としました。

古河らしさを感じられるオンリーワンであるものを取り込み、この施設へ訪れたくなる魅力を演出するため、かつて夏祭りを盛り上げた“古河屋台”を修復し展示しました。また、展示しておくだけではなく落語や民舞などの舞台としても利用することで趣のあるイベントを演出することができます。

デザインについては、町並みや歴史性を考慮し、外観の表情の違う建物が連なっているような形状とすることで、家並みを感じ取ることができます。また、切妻屋根が建物形状に沿って連なることで屋根並みも感じることができます。素材についても塗壁調素材やレンガ調タイルなど、自然のぬくもりをかもしだすものとしており、駐車場についても電線地中化やシダレヤナギの植栽など景観とシンボル性の向上などを考慮した空間づくりを行っています。



【お問い合わせ先】 古河市施設管理課 TEL：0280-92-3111

表彰

日立市 第12回ブルネル賞（2014年） 駅舎部門・優秀賞を受賞

日立市が事業を進めてきた「日立駅周辺地区整備事業」において、「日立駅」が第12回ブルネル賞（2014年）駅舎部門・優秀賞を受賞しました。

各種施設の整備にあたっては、「記憶に残るデザイン」「誰からも愛されるデザイン」「ふるさとを感じさせるデザイン」「すべての人に使いやすいデザイン」を目標に、「まちの顔」としての魅力を高めるため、世界的に活躍されている妹島和世氏にデザイン監修に携わっていただきました。

駅舎と自由通路が地域のよりよい拠点として人々が交流できる手段を増やし、まちの活気を維持している点や、駅と自由通路の全体が、利用者を引きつけ、快適に利用できるよう、とても丁寧なデザインされている点などが評価されました。



【ブルネル賞】

鉄道に関するあらゆる分野の優良デザインを奨励し促進していくことを目的に、世界各国の鉄道関連デザイナー及び建築家により構成されるワトフォード会議によって、1985年に設立された賞で、鉄道関連では唯一となる国際デザインコンペティションです。